

9月19日は敬老の日

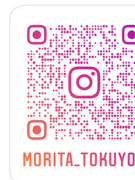
祝



いいの?!



皆様に日頃の感謝を込めて法人のロゴ入りグッズをお部屋に直接お伺いしサプライズプレゼントさせていただきました。



テーブル拭きから洗濯物畳、たくさん手伝って頂いています。スタッフは頭が上がりません〜🥰本当にいつもありがとうございます。



法人のロゴ入りです



町内清掃に参加しました!!



コロナ禍でなかなか参加出来なかって町内清掃に参加しました。お天気に恵まれ気持ちの良い朝です。地域のイベントは大事な交流の場です。良い汗をかきました!

ニュース速報・・・夏の猛暑は10月まで続く可能性があるそうです。・・・ニュース速報・・・

🎂 10月のhappy birthday 🎂

板橋みゆき様 昭和 6年10月 5日 (89)
伏島 一二様 昭和21年10月27日 (87)

お誕生日おめでとうございます!
これからも宜しく願い致します。



内緒で教えます👂特選本

【大切な人を亡くしたあなたに知ってほしい5つのこと】

大切な人を亡くした時に読んで頂きたい一冊です。死は避けられません。いずれ別れの時がきます。その時、自分自身がどうあるべきかを優しく、ありのままの受け入れ方を教えてくれる本です。

著 井手敏朗



施設長の独り言 敬老の日 THE WORLD編



昔は9月15日が「敬老の日」。今は9月の第三月曜日となってしまいましたが、9月15日のイメージが中々抜けませんね。ちなみに敬老の日の年齢の目安は特に決まっていないようです。老人福祉法では65歳以上を高齢者としていますが、現代の60代はまだまだ若々しい方も多いため、70代を迎えてから敬老の日をお祝いするという方も増えているようです。ちなみに、アメリカ9月の第2日曜日は「祖父母の日」とされています。孫から祖父母へ花やグリーティングカードを贈るそうです。お隣の中国は中国旧暦の9月9日を「重陽節」と呼び、陽数と呼ばれる9が2つ重なっていることに由来します。重陽説には各地で様々なイベントが開催される歴史あるものです。韓国にも「老人の日」と呼ばれる日が存在しますが、普段から「高齢者を敬うのは当たり前」という思想が強いため特別な風習はありません。どちらにせよ敬う心は大事なことです。いつも私のことを心配してくれる父と、私も母の墓前に「ありがとう」の気持ちを贈りました。

施設入居者様募集しております！

大田市に住所がある方で要介護3以上の方
少人数制（29名定員）完全個室でプライベート空間も保ちながらご家族が来た時にも安心してご面会ができるスペースもございます。新規のご利用者の募集を開始します。お知り合いの方で、介護でお悩みの方や入所をお考えの方はお気軽にご相談下さい。

特別養護老人ホーム毛里田
施設長 齋藤喜夫
お問い合わせ先 0276-56-9357



ニュース速報・・・10月よりご予約でのご面会をスタートします。(土日は除く)・・・ニュース速報

本日の推薦メニュー

そんな【チラシ寿司！】の由来の話

江戸時代、備前岡山藩の初代藩主・池田光政が、庶民に質素倹約を命じ、お祭りごと以外では「一汁一菜」とする、としました。それに反発した庶民が、魚や野菜をご飯に混ぜ込み、見た目を「一菜」とした、というのが有名です。面白い発想ですね！



★いつも美味しい食事をありがとうございます★

互いを知ることから始めよう！

"Sang Merah Putih"



インドネシアから研修生がスタートしてから1ヶ月。早速、現場の実習で活躍しています。お二人の祖国インドネシア、国旗を見ると何処となく日本の国旗と似ていませんか？紅白旗とも言われています。ちなみに赤が太陽、白が月を現すと伝えられているそうですが、今は赤が自由と勇気、白が正義と純潔を示すとされているそうです。

毛里田に赤ちゃんが やってきたー！

Mizuki Maehara



管理栄養士の前原さんに第二子が誕生しました。前原瑞紀君です。無条件に赤ちゃんは可愛いですね～ご夫婦共に管理栄養士のサラブレッドは将来は三つ星レストランのシェフ?! 将来が楽しみです。ともあれ元気にすくすくと育てたいです。

【編集後記】

⇨先日、赤ちゃんが毛里田に遊びに来ました。空気が変わると言うか、一気に幸せな気分になってくれます。世の中きな臭い話題ばかりですがこの子らがスクスク育つ世界になる事を願うばかりです。それが大人の役割なのですが・・・🙏

社会福祉法人毛里田睦会
特別養護老人ホーム毛里田
群馬県太田市矢田堀町361-1
TEL:0276-56-9357
FAX:0270-56-9358
E-mail:info@tokuyu-morita.com
HP:http://www.tokuyomorita.com/
令和4年10月1日
発行人 齋藤喜夫